

守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第 2 回 学区別会議 [河西学区]

平成 25 年 7 月 25 日（木）午後 7 時 30 分から河西会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 2 回学区別会議を開催しました。

最初に「守山まるごと活性化プラン」の目指すもの、検討の進め方などについて事務局から説明がありました。その後、河西学区にお住まいの住民 31 名に、滋賀県立大学の濱崎先生や学生さんも一緒になり、「地域の特徴、良いところ」、「地域のたからもの」について話し合いが行われ、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：高野学区長より
- ②内容説明：プランの内容と検討方法、会議当日のプログラム内容
- ③テーブルに分かれて意見交換：『地域の特徴、良いところ』、
『地域のたからもの』さがし
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲テーブル毎に話し合いました

■高野学区長の挨拶（抜粋）

私自身も、「地域の宝物」は半分程度しか知らない。意外と住んでいる地域のことはわかっていないものであり、守山市全体では、もっと知らないこともあると思う。地域を知ること、守山を知ることが、「住みやすさ日本一」につながる。この会議をとおして、河西学区の素晴らしさを再確認していきたい。

テーブル毎に河西学区の『特徴、良いところ』、『たからもの』について話し合いました

- 5つのテーブルに分かれ、それぞれの『地域の特徴、良いところ』、そして『たからもの（今まで大事にしてきたものや文化、自慢できるものなど）』を話し合いました。
- 『地域の特徴や良いところ』で出てきた意見には、「地域へのつながりが強い」、「交流が活発に行われている」がありました。また、新旧住民が混在している地域では、運動会等をつうじて交流が図られているそうです。
- 『たからもの』では、各地で野洲川の伏流水や湧水といった『水』にまつわる慣習や文化に関するものが多く出てきました。また、市の花にも指定されている「妙蓮」や、伏流水・湧水を活かした「川戸」といったユニークな『たからもの』、「笠原生姜」や「わさび」といった特徴的な農産物が出てきました。

■滋賀県立大学 濱崎先生のコメント

川戸の関連事例として、高島市・針江の「かばた（川端）」を紹介させていただく。針江では、有料で観光客に「かばた」紹介する取り組みを行っており、収益を「かばた」の補修費等に充てている。「かばた」の観光資源化については賛否両論があるが、活性化の観点から良い点・悪い点をいかにうまく回していくかがポイントになると思う。



■お問い合わせ

守山市政策調整部みらい政策課

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL: 077-582-1162 e-mail: miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp